（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	▫	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	現場意思決定において、女性の役付者(部長1、課長1、係長2)のリーダーシップの機会を確保している。障がい者雇用も実施中。令和元年度長野市男女共同参画優良事業者奨励賞受賞。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		▫	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントに関しては就業規則に禁止を明記。 服務規律に公益通報の仕組みも記載し、通報に対し不利益な取り扱いをしないことを明示している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		▫	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	ジョブローテンションの実施で業務能力の多能工化を図り、効率性を高めている。【予定】労働基準法の改正につき全社員で認識し、交わす労使協定の運用を徹底していく。								8.5 8.8									
4		▫	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者に限らず、差別･人権侵害のない労働環境の整備を行なっている。外国人労働者雇用の実績もあり、能力評価につき何ら区別をしない方針としている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		▫	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生委員会にて業務改善に取り組み、印刷現場の帽子着用の義務化など、具現化している。			3					8									
6		▫	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する方針と計画を策定し、実施している。毎秋のストレスチェックにて産業医の所見を頂いている。			3													
7		▫	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	それぞれの立場を尊重した出勤体制の採用。時短、時間単位有休等。長野県「社員の子育て宣言」登録。令和元年度長野市男女共同参画優良事業者奨励賞受賞。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		▫	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	随時のジョブローテーション実施と資格チャレンジを推奨している。資格：DTPエキスパート、印刷技能士、職業訓練指導員ほか				4	5.5			8	9								
9		▫	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	全社員の適正な人事評価を実施している。 【予定】社労士と相談の上、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を整える。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		▫	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断の毎年の実施。フィットネスクラブと提携し、社員が積極利用している。			3					8									
11	環境	▫	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	産廃はマニフェスト管理を徹底して、排出先業者の管理を徹底している。											11.6	12.4		14.1			
12		▫	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】省エネ診断を実施、現状把握し、省エネ対策を立てる							7.3						13				
13		▫	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	GPマーク取得認定工場として、排出抑制に努めている。太陽光発電設備を所有。【予定】温室効果ガスの排出量を把握し、削減対策を立てる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		▫	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	印刷部門内でのOJTにより、的確なインクの使用量予測を見極め廃棄を削減するよう取り組んでいる。。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		▫	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	上記有害化学物質等の管理を徹底し、外部に漏れ自然への悪影響を及ぼさないようにしている。						6.6									15		
16		▫	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	刷版（アルミ製）は、使用後にリサイクル業者に渡し再生されている。冷却水のリユース、廃棄インクの削減に取り組んでいる。												12.5		14.1			
17		▫	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	印刷機に関連する冷却水は循環利用しており、3か月～1年以上は再利用している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		▫	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	業界のGPマークを取得した認定工場として、環境に配慮した印刷製品の作製に心掛けている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		▫	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	CSR活動として環境･健康･安全の保護につき行動規範を設け、実践し、HP内にて公表している。												12.6					
20		▫	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	本社屋上に太陽光発電設備を設置し、利用している。							7.2						13				
21		▫	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	長野、東京、京都、沖縄にて事業展開しており、会議はTV会議とすることで人の移動を極力少なくしている。また、材料仕入は環境配慮型企業からも行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	▫	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に贈収賄の禁止を明記し、自社の名誉と品位を保つよう浸透を図っている。																16 16.5	
23		▫	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	談合等不正競争行為について、社員、特に営業の人員には行動制限をするよう教育している。																16	
24		▫	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	工程管理･原価管理システムをオーダーメイドし、完全社内運用。【予定】組版自社ソフトが構築できれば特許申請予定。								8.2 8.3	9								
25		▫	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	プライバシーマーク取得し、納入業者にも厳密な対応を求めている。																16	
26		▫	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	使用インク仕入はSDGs達成に向けての取組みを標榜している業者からも仕入れている。 【予定】インク、溶剤等仕入業者の全社確認をする。																16	
27		▫	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	納入業者の取り組み姿勢確認を毎年実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	▫	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO取得しその運用の中で、当社のリスク分析および安全管理対策を行なっている。			3.9									12.4					
29		▫	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を取得。クレーム対応体制を整備し、設備の更新や自動化に取り組み、高品質の製品を作り続けている。									9								
30		▫	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	GPマークを取得した認定工場として、環境に配慮した印刷製品の作製に心掛けている。						6						12	13	14	15		
31		▫	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	GPマーク認定工場として、地球環境に配慮した印刷工程による製品づくりに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	▫	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	受注先は県外が多いものの、県内の若い人材を採用しており、スポーツ団体のスポンサーになるなどで、地域の盛り上げに貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
33		▫	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	近隣地区(避難場所)の定期清掃、上記のスポンサー活動を継続している。				4							11			14	15		17
34		▫	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元人材を採用し、高品質商品を作り、首都圏･関西地区の多くの顧客との商売をする、地産外商の事業を展開している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	▫	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	企業理念と約束事項を明確にし、社員全員が記載した小冊子CREDOを携帯している。								8	9								17
36		▫	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社内掲示板にて法令順守の重要性を全社員に発信している。																16	
37		▫	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	業界のCSR認証を取得し、責任者を任命している。																16	
38		▫	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとの関係を密にしている。																16	17
39		▫	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	PMS、ISOの運用の中で、当社のリスク分析および監査を行ない、リスクマネジメントをしている。																16	
40		▫	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	業界のCSR認証を取得している。																16	
41		▫	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	長野、東京、沖縄でミラーリングにて、ｻｰﾊﾞｰダウンのリスクテイクを準備している。また、距離の離れた同業者と非常時の相互協力協定を結んでいる。									9		11		13 13.1			16	
42		▫	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社員から選別することに備え、若い人材の役員登用を既に行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）